

大和郡山 防災ニュース 3. 3月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

自治会のみなさん 自主防災組織活動事業費補助金のご活用のご機に 避難について話し合っただけませんか！

このたびの「自主防災組織活動支援事業補助金」で地域のみなさんには、いろいろとお世話をおかけいたしました。この補助金制度をきっかけでその活用方法について様々な話し合いの場を持っていただいたとお聞きしています。また、今まであまり防災活動をしてこなかった地域でも啓発物品の配布がきっかけで防災への関心が高まったともお聞きしています。これも地域の役員の皆様のおかげであり、改めて御礼申し上げます。さて、自治会単位での防災で最も優先順位が高いのは、いざ災害の際、①「安全に避難すること」

②「安否確認ができること」です。このため、私共は、昨年10月に自治会のみなさんに「防災における自治会の役割『避難計画をつくろう！』」を配布いたしました。

もし、今自治会の中で、「防災も考えないと！」「今後どんなことをしたらいいの？」というお声が出ているなら、この機会に自治会の「避難計画」について話し合いをしていただけませんかでしょうか？



新型コロナ禍における避難の考え方も取り入れながら！

避難所においては新型コロナウイルスの感染防止の観点から、非接触体温計やアルコール消毒液の配備、また避難者同士の間隔を取ったり、発熱者を別室にご案内するほか、開設避難所数を増やすなどの対策を行っておりますが、衛生環境を完全な状況にすることは難しいのが現状です。このため、避難場所の分散が課題となっており、「避難」とは「難を避ける」ことであるという考え方から、



親戚や知人のお家を避難場所にしたり、自宅で安全が確保できるならそこに留まることもよし、という考え方が主流になってきています。特にマンションについては、高層で強固な建物であることから、地震や水害（低層部を除く）においても大きな損傷がなければ在宅避難が基本であるとの考え方になってきています。

様々な避難形態の中で自治会の役割とは？

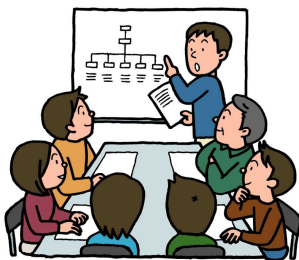
従来のような避難所一辺倒でなく、在宅避難や知人宅への避難も含めた避難のあり方を踏まえた自治会の役割とはどんなものなのでしょうか？特に在宅避難が基本のマンションで自治会に防災の役割自体あるのですか？という問いかけも出てまいります。その答えは、冒頭の②「安否確認ができること」からの発展形に行きつくのではないかと存じます。まず、各班毎に各戸住民の安否を確認し、その際に避難所へ行くのか？在宅避難なのか？の確認、在宅であれば、食糧配給の希望があるのかを自治会で集計して、市指定避難所で届出すれば、避難所外避難住民としての利便を受けることができます。また、被災地には空き巣、不審者など犯罪が増えるようです。巡回当番などを決めて、防犯に努めることも自治会の重要な仕事になってまいります。



子供や学生、要支援者も参加した地域防災を！

自治会長さんに電話連絡する中で感じたのは、防災について役員さんだけが苦勞している姿です。防災は大事な事柄であることはわかっているけれど「自分がやり過ぎると次の役員に迷惑がかかる」というお声も聞いたこともあります。地域には防災は手間のかかる面倒な仕事であるところを嫌っている方がいるのも事実です。

ところで多くの学校では防災教育として地震の際の対応など学んだり訓練を行っています。また子供達は将来の社会を支えるかけがえのない存在です。子供や学生にも地域防災にいっしょに参加してもらい、意見を出してもらったらいかがでしょうか？若い人たちの参入が大人の考え方や責任感に影響を与えたり、これは役目だ、とのみ思っただけでやってきた防災に世代間の交流という楽しみが生まれるかもしれません。さらに災害のとき、支援を受ける立場の方のお気持ちを聞く機会を持ったらいかがでしょうか。災害時は要支援者でも、日常の生活では貴重な意見をいただけるかも知れませんね。



自治会などの防災出前講座依頼も受付中！ 少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください

大和郡山市消防団へようこそ 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課